

# 令和元年度 政策対話における意見等への対応

林務部信州の木活用課

実施日：8/25（日）

場 所：林業大学校（木曾町）

## 【林務部：林業の担い手確保について】

### <趣旨>

森林資源が充実し利用可能な段階を迎える中、森林県から林業県への飛躍に向けて、林業の担い手の確保・定着化や、人材育成の取組について

### 林業の担い手確保について

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算案公表時）
<p>林業のイメージの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業という仕事が社会に理解されていないのが課題。</li> <li>・朝、暗いうちから仕事に出かけて、時には命を落とした話を聞くことも。林業は、危険で過酷なイメージ。今は機械化などで環境も変わってきている。林業のイメージを変えていくことが必要。</li> <li>・林業は、持続可能な社会への貢献など、お金で評価できない 意義や魅力がたくさんある。林業の魅力をもっと訴えていくことが大事。</li> <li>・最近の若者は与えられた仕事ではなく自分が納得した仕事をやりたいという傾向。安全でクリーンなイメージが大事。</li> <li>・林業を魅力ある仕事にするには「格好良さ」も大事。自分は仕事するとき、あえて派手な色の服や格好いい道具を使って、見られることも意識している。</li> <li>・SNS等で若者にアピールをしていくことも効果的。</li> <li>・海外の先進林業地では安全性が重視される。チェーンソーを持って格好良いユニホームで安全な仕事だったら子どもも憧れる。海外の林業を知ってもらうことも必要。</li> <li>・林業に女性が入る環境としては、お手洗いや着替えのスペースなど課題もある。女性も活躍できる職場にしていくことが必要。</li> </ul>	<p>○林業が環境や社会に貢献していることや、先進技術の導入や安全性の向上、服装・労働環境の改善等の林業の最新の取組を共同説明会や就林セミナーで伝えるとともに、HP等での情報の発信、学校などでの普及啓発や幅広い世代が参加するイベント等も活用しながら、林業への理解とイメージの向上に努めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【森林整備担い手育成確保総合対策事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業労働力確保支援センター推進事業 6,044千円 林業労働力の育成・確保や就業環境の改善に取り組む林業労働力確保支援センター（（一財）長野県林業労働財団）の運営経費の補助</li> <li>・次代の担い手対策事業 475千円 林業のイメージアップのためのHP作成やIT技術を活用した林業体験等により若年層へのPRを実施</li> </ul> </div>	

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算案公表時）
<p>学童期における林業体験の重要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年から中学校の頃に森林・林業に関する話を聞いたり 林業体験をしてもらうことが重要。今は林業を知る機会がない。</li> <li>・子どもの頃に大型機械での伐倒などを見てもらうような機会があれば林業の格好良さも伝わる。子どもが憧れる職業にしていくことが必要。</li> </ul>	<p>○森林での教育活動は、様々な気付きを促し、子どもの成長にも効果があるとともに、将来の職業として林業を意識する機会としても期待できることから、学校林の整備をはじめとする森林での教育活動を積極的に展開するとともに、林業を紹介する分かりやすいパンフレットを作成するなど、子どもの森林・林業体験を推進していきます。</p> <div data-bbox="1104 408 2078 592"> <p><b>【森林整備担い手育成確保総合対策事業】（再掲）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次代の担い手対策事業 475千円</li> <li>林業のイメージアップのためのHP作成やIT技術を活用した林業体験等により若年層へのPRを実施</li> </ul> </div> <div data-bbox="1104 603 2078 740"> <p><b>【学校林等利活用促進事業 17,975千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒が森林・林業に親しみを感じ、次世代の森林づくりに理解を深めるために学校林の活用を推進</li> </ul> </div>
<p>木材の利用の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業の魅力を知ってもらうには、まずは木の良さを知ってもらうこと。身近な場所で木を使うことを、地域の人にも観光客、外国人にも発信していきたい。</li> <li>・家や身の回りのものを木に変えていく。木にかかわる人たちのネットワークやイベントなど、地域でできることを重ねていけば、自然と林業のイメージも上がる。</li> <li>・木が売れて、たくさん使われてくるようになると賃金も上がるのではないか。</li> </ul>	<p>○子どもの居場所や観光地の案内標識等の木質化や木材関係団体が行うPRイベントを支援することにより、引き続き県産材の利用促進を図ってまいります。令和2年度は、県産材の一層の利用促進を図るため、多くの方が利用し、波及効果があるモデル的な民間施設の木質化支援や、販路拡大支援を行うコーディネーターの配置に取り組みます。</p> <div data-bbox="1104 970 2078 1107"> <p><b>【地消地産による木の香る暮らしづくり事業 93,575千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や民間事業者等が行う、子どもの居場所・民間施設・公共サインの木質化等の取組を支援。また、県有施設の木質化により、県民に木に触れる機会を提供。</li> </ul> </div> <div data-bbox="1104 1118 2078 1256"> <p><b>【県産材活用加速化推進事業 8,203千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材加工事業者のJAS（日本農林規格）認証取得を支援するとともに、都市圏への販路拡大を支援するコーディネーターを配置。また、県産材の付加価値向上を検討。</li> </ul> </div>

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算案公表時）
<p>安全性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業は、危険な現場も避けられず、危険な職業であることは事実で、それに見合う収入が必要。</li> <li>・ 林業の仕事で大事なことは、何よりも安全に対するリスクマネジメント。危険性はゼロにはできないが、安全性を高めしていくことはできる。</li> <li>・ 危険が避けられない環境で仕事をしなければならない以上は、リスクマネジメントとその教育が重要。</li> </ul>	<p>○林業の安全性の抜本的な改善は重要な課題と認識しており、従来から実施している巡回指導や安全対策セミナーに加え、事業体が行う安全改善の取組を支援します。</p> <div data-bbox="1104 371 2074 512" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【林業労働災害防止対策事業 729千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業の労働災害を防止し、林業の就労環境の改善と担い手の確保・定着を図るため、専門家による巡回指導や労働安全衛生対策セミナーの開催等を支援</li> </ul> </div> <div data-bbox="1104 520 2074 703" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【持続的な林業経営の確立支援事業 15,273千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林整備の担い手として、「意欲と能力のある林業経営者」となる林業事業体の経営改善等の取組を支援するとともに、経営感覚を持った人材の育成やIT化による業務の効率化等を支援</li> </ul> </div>
<p>収入の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝早くから土日も関係なく仕事をしている人もいる。それだけの仕事をしてもらうにはそれだけの賃金が必要。危険に見合うだけの収入も必要だと思う。</li> <li>・ 家族を養っていく立場になれば、仕事の優先順位は収入面。その次がやりがい。自分は、今どちらも満たせているので、毎日が充実している。そうなると仲間も増えてくる。</li> <li>・ 職場の班内のチームワークを高め、生産性を上げていけば、収入にもつながるのではないかと。</li> <li>・ 事業体によって、賃金にも格差がある。仕事の質、量に対しての賃金の課題は取り上げて欲しい。</li> </ul>	<p>○林業は、高い技術力が必要なことから、就業後3年間は、研修期間として位置付け、国の「緑の雇用」新規就業者育成支援事業により支援を行っています。</p> <p>また、各事業体や従事者がより生産性を高め、できるだけ多くの木材収入を得ていく工夫をしていくことが重要になることから、高性能林業機械の導入や技術習得への支援、事業体が自主的に経営や生産性等の課題と向き合い、改善を行っていく取組を支援します。</p> <div data-bbox="1104 1002 2074 1142" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【高性能林業機械導入推進事業 66,628千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素材生産の効率性や労働安全性を高めるために、高性能林業機械の導入の支援を行うとともに、オペレーターとなる人材を養成</li> </ul> </div> <div data-bbox="1104 1150 2074 1334" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【持続的な林業経営の確立支援事業 15,273千円】（再掲）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林整備の担い手として、「意欲と能力のある林業経営者」となる林業事業体の経営改善等の取組を支援するとともに、経営感覚を持った人材の育成やIT化による業務の効率化等を支援</li> </ul> </div>

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算案公表時）
就業後の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能林業機械の導入が増えているので、運転や資格取得のサポートをして欲しい。</li> </ul>	<p>○生産性を高めていくためにも、高性能林業機械の一層の活用は重要な課題と捉えており、高性能林業機械のオペレーター養成や操作技術の向上のための機会を設けています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【高性能林業機械導入推進事業 66,628千円】（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素材生産の効率性や労働安全性を高めるために、高性能林業機械の導入の支援を行うとともに、オペレーターとなる人材を養成</li> </ul> </div>

### 林業大学校について

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算案公表時）
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設、特に男子寮については、早急に建替えが必要。</li> <li>・林大の設備については、チェーンソーの充実など改善が図られている印象。ただ、実習用の林業機械は今では現場で使われていないような古い機械を使っているため、就職先で役に立つよう最新の機械で学ぶ環境を整備してあげて欲しい。</li> <li>・森林を利用する時代になり、これからは、多くの分野に精通していて色々なつながりを持っている人が必要で、全体をディレクションできる人材が必要。</li> </ul>	<p>○学生が安心して暮らし、学業に専念できる生活環境を整備するため、老朽化が著しい男子寮の建替えを行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【林業大学校教育環境整備事業 493,530千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開校以来40年以上が経過し、男子寮棟等の施設の老朽化が著しいため、学生が安心して知識・技術の習得に専念できる教育環境を整備</li> </ul> </div> <p>○就業先で活かせる実践的な技術を学ぶため、林業現場で多く普及しているフォワーダ（積載式集材車両）を講習用に導入するとともに、演習林をより高度に活用するための作業道を整備します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【林業大学校費 52,456千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業の専門的知識・技術を身につけた、農山村地域の指導的な役割を果たす林業技術者を養成。また、全寮制による行学一致の総合的な教育を展開</li> </ul> </div> <p>○これからの林業を担う人材は、社会の多様なニーズを踏まえ、広い視野と確かな技術を身につけていることが必要となりますので、こうした人材を育成するため、これからの林業大学校のあり方や教育の充実について、更に検討を深めていくこととします。</p>